

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。


チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム平和
(ユニット名)	第1・第2ユニット
所在地 (県・市町村名)	静岡県静岡市清水区西久保1丁目13-26
記入者名 (管理者)	吉原 正江 前藤嘉彦
記入日	平成 19 年 11 月 11 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
	<p>認知症になっても最期まで人として住み慣れた町で暮らしていけるよう地元で根ざしたホームを目指している。</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		
	<p>毎日の日課を職員が、利用者様と共に行っていく。職員に利用者様の残存能力に働きかけてやる気を引き出していただき助けたり助けられたりする。共に生きていこうを理念として掲げています。</p>		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		
	<p>地域自治会活動、行事への参加、地元商店に買い物に出かけることで地元で居住する住民としての存在をアピールしている。</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		
	<p>ホーム入居中の利用者様の大半が、近隣の方なので知人友人兄弟達が気楽に立ち寄ってくださる。又厳寒は、日中いつも施錠されていないので回覧板や自治会費の集金、新聞代の集金等に来客者が多い。</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		
	<p>地元で神社が多く祭り時は、カラオケ、盆踊りに参加させていただいている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣高齢者からのボランティア要請には、応えていた程度で取り組みはされていない。	○	今後の課題にしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価が、現在ホームで行われているケアの質の検証とその改善に役立てていく良いきっかけづくりであるものと理解している。評価結果は、全職員が常に目を通せるようにし、改善が意識されるようにしている。	○	職員会議等で、外部評価の結果を元に現状や課題を明確にし、それらについて十分に検討していくことで、ケアの改善につなげていきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、5月に行った。その場でホームの成り立ち、認知症知識と理解、現在の利用者様の入所にいたるまでの話をさせていただいた。出席者自身は、地域地元の役員が多く認知症とのかかわりの薄い方が多く理解までは、到達できなかった。	○	2ヶ月に1回の運営推進会議は、困難を極めている。今後来年には、地域役員が回ってくるのでこの機会にホーム運営推進会議を開くチャンスを得ようと思う
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在、介護相談員が、月1回ホームに来所されホームでの感想を聞きご指摘に対しては、真摯に受け止め職員に傳達している。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、利用者様の1人が、権利擁護を受けており入居当時に制度について学ぶ機会があり職員にも説明はしたが、どこまで理解されたかは、不明である。	○	現在、権利擁護を受けている利用者様が、成年後見人の話も出ているので社会福祉士資格を有する職員もいるので勉強する機会を得る予定でいる。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	12月に講義が予定されている。日頃は、職員の利用者様への接し方については、指導をしている。	○	高齢者虐待防止も含めて今後に向けてホームの倫理綱領を作成する予定でいる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ホーム見学の祭にホームの運営方針を説明しご理解をいただけることで入居の可否を決定している。入居相談は、利用者様やご家族の施設入所にいたるまでの経緯について充分に話を伺うようにしている。</p>	<p>○</p> <p>リスクを伴う利用者様の入所に関しては、入所後もご理解に向けて働きかけをしていく。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様の意見や苦情、不満に関しては傾聴し職員に情報として伝え改めるところは、治していただいている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の介護記録(日々の様子、健康状態)をコピーしてご家族に郵送している。金銭管理は、利用者様で自己管理されている方は、いない。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月の介護記録のコピーを郵送する際に苦情や要望等を管理者までお話くださいますよう伝えている。ご家族来院時は、必ず声をかけている。玄関口に苦情相談窓口を掲載してある。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のミーティングを開催している。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入浴時間は、夕方から行えるよう遅番職員を2人にしている。日中は、外に出て行こうと落ち着かない利用者様の要求を満たす為に日中の職員配置をホーム全体で6～7人にしている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の入れ替わりは多いのが、現実で経済的な問題や介護職としてふさわしくない態度でせつすることで利用者様の不安を仰ぐことは注意をしている。それが、離職につながることで難しい問題である。長くいてくださる職員には、慣れた利用者様の介護に専属であたっていたいただいている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員には、管理者が観て苦手とされる介護面を見極めて研修参加をしていただいている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、在宅でのケアマネジャー経験から同業者との交流の機会はある。	○ 今後職員が、同業者達との交流が持てる機会を作って行きたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者は、常に介護現場に職員間や介護に対する不満を訴えられるように常に現場と一緒に入っている。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者は、職員の勤務状況については、いつも把握しており努力や実績に対しては、尊敬と感謝の言葉として伝えている。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者様の認知症に程度により変わるが、入所に関して事前の見学では、ご本人からの訴えを傾聴、共感するよう努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前の相談は、入所にいたるまでの家族の苦悩や入所させてしまうジレンマに対する訴えが殆どで短い時間では、語りつくせないこともある。ともかく家人の訴えを受け入れることから始めている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談に来られる時は、施設入所の決意で来られるので他サービス利用を含めた対応は、行っていない。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	当ホームへの入所される利用者様の殆どが、認知の程度も高くご本人に納得していただくレベルでない。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、入居者を一方の立場におかず、常に一緒に学び、支え合う関係を築くことを心掛けている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者様をお客様扱いでなく共に助け助けられる関係作りに努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様の中には、利用者様の行動障害が、家族関係破壊の危機にまでいたったケースがあり心の傷を背負っている家族もいる。入所される距離をおいても未だよりよい関係づくりにまでいたることは困難である。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	事前にアセスメントした上で、これまでの馴染みの人や場所との関係が保てるよう支援している。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の関係を把握した上で、入居者が孤立することがないように、職員が間に入ることにより、その関係作りに努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	開所から現在までの退所者の中には、他施設で死去されている。特養に入所された方においては、ご家族が入院中であり回復したら来所されることを約束しておりお話を伺える機会には、作ってある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に入居者の希望、意向の把握に努めている。意思の疎通が困難な場合も、何をしたいのか本人本位に検討している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のアセスメントにおいて本人の情報収集に努め、サービスにいかしている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々、一人ひとりの状態を把握するよう努め、カンファレンス等で現状を話し合い、再確認している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月の担当者会議の開催において職員からの意見やアイデアを出していただいたり、ご家族面会時に現在の状況をお話ししながらご家族の意見も聞くようにしている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月の短期目標を掲げて計画を立てているが、3ヶ月の見直しの中で変更が生じた場合は、現状に即した計画を立てるようにしている。急な変化に対しては対応を急ぐ場合は、職員や家人との連絡や話し合いで計画を立て申し送りノートを活用している。流動的に変わることもあるので書面でのサービス計画書変更まで至らないこともあり。様子を見て固定して行くのを待って話し合いでの結果を計画作成している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別介護記録とは別に、業務日誌、申し送りノートも使用しながら職員が情報を共有できるようにし、実践への反映と介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	可能な限りの柔軟な支援は心がけている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域社会福祉協議会でカラオケルームを借りたりしたが、本人の意向というより職員の誘導が主であった。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	デイサービスに通所されている利用者様が2人いる。通所時に連絡ノートによりサービス事業者との連携をとるようにしている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護を使っている利用者様がいます。地域の権利擁護担当者との話し合いや連携をとるようにしている。又地域包括センターとの連携も何時でもとれるようにしている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家人が、かかりつけ医とのトラブルを管理者に相談されたことに対して医療相談室に苦情として取り入れていただいた。現在家人が安心できる医療連携体制を医療相談室と管理者と検討中である。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	管理者は、看護師で訪問看護の経験を有している。	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	現在入院中の利用者様に対して医療相談室との連携をとっている。	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化におけるガイドラインの作成はされている。家人との終末に対する話し合いが、具体的になされている利用者様もいる。	
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	終末期の利用者様に対しては、家人にホームでできる医療体制についての話し合いがされている。訪問診療医とは、事前に話し合い済みである。	
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	特養入所者様に対しては副施設長の来所、電話で連絡をとり情報提供を充分に行った。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	本人のプライバシーに関する事柄は、恥をかかないよう場所や声かけ等に配慮している。記録類は事務所に管理し、持ち出し厳禁として、施錠を徹底している。記録の際、個人名は書かないようにしている。排泄・入浴一覧表、個人介護記録の一部はフロア内の施錠出来ない棚の中、もしくは棚の上に管理している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人のコミュニケーション能力に応じた声かけを行い、何を希望し、訴えたいのかを理解するよう心掛けている。本人が決めたことに対しては否定せずに支援するよう心掛け、支障がでる場合も頭から否定せず納得してもらうよう心掛けている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自己管理のある程度できる入居者に対しては、本人のペースや希望を優先してあげられるよう努めている。そうでない方に対しては、現状、個々の状況を確認の上、施設のスケジュールに沿って声かけを行い、支援している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	開所当初は、近隣の理・美容を使っていた方もいらしたが、現在は、出張してくださる床屋さんに任せている。出張してくださる床屋さんは認知症への理解が、十分にできている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備、片付けは、入居者の個々の能力、その時の状態を見極めた上で、職員と一緒に行動することを前提としている。一緒に作った食事は入居者と職員が同じテーブルで食べることにしている。献立は個々の嗜好や、これまでの評判をふまえて選択している。	○ 献立を入居者と一緒に考える機会を増やし、献立に対する自発的な要望、発言を引き出せるような方法を検討していく。イベント等による外出の際は、外食も取り入れてみる。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	栄養、健康面を配慮し、ご家族と相談の上、好みのものが楽しめるよう支援している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一日24時間の排泄パターンがひと目で分かる排泄表を作成し、個々の排泄パターンを把握するよう心掛けている。日中はおむつにたよらず、誘導主体とし、夜間は睡眠優先としている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個々の入浴日と時間帯は決めてあるが、必ずしもそれにとらわれず、希望、タイミングには配慮している。女性職員の介助を希望する入居者には、男性職員が介助にあたらないようにしている。個々の清潔が保てるよう、入浴可能な時間帯を広くとり、生活歴や季節にも配慮している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝時間の強制、無理強いはしていないが、個々の健康、生活リズムの改善、安定の為、夜は寝て、日中は活動してもらうよう心掛けている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴、好み、能力の把握に努め、日々の生活の中で、役割、趣味を見出せるよう支援している。また、デイサービスへの通所援助や音楽療法を気晴らし、楽しみごとのきっかけづくりとして取り入れている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理の可能な入居者には、お金、財布を所持してもらい、希望や能力に応じた買い物の支援をしている。管理の困難な方に対しては、ホームの管理の上、買い物は代行するというかたちで支援している。	○	個人購入のものに関しては、職員が買い物を代行するのではなく、本人に同行したうえで、品物を選んでもらう、お金を渡し支払ってもらう等、個々の能力に応じた支援をしていく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の本人の希望把握に努め、その希望にそった外出支援をしている。ただ、帰宅願望など突発的な外出希望に対しては、本人のタイミングで対応出来ない場合がある。	○	職員間の連携を高め、より柔軟な対応を実践していく。また、一人ひとりの外出の機会、タイミングも見逃さないよう、日々のコミュニケーション作りを心掛けていく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人のニーズの把握につとめた上、地域の活動への参加支援や施設主体のイベント(遠足、いちご狩り等)を企画している。	○	本人から具体的な要望が出た場合は、ご家族にも情報発信した上、協力をお願いする。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて電話の貸し出し、取次ぎ、手紙を出すための支援を行っている。また、個々の能力に応じ、携帯電話所持の支援もしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会に対する制限はなく、歓談のスペースも確保している。また、本人の面会希望は家族、知人、友人に伝えている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしないという前提のもとケアにあたっているが、声かけ等含め、どこまでが身体拘束の具体的な行為であるのか十分に把握できていない部分がある。	○	研修・勉強会等通じて学んでいく機会を積極的に作りたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵をつけておらず、日中は玄関を開鍵している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間で常に声をかけあい、朝昼夕の申し送りや引継ぎノートの活用により、利用者の所在や様子を把握している。	○	日中、居室内で過ごすことの多い利用者に対しては、居室内での状態把握と、プライバシーへの配慮をふまえ、のれんの配置を行っている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品をなくすことはせずに、入居者がそれらが必要とする際はいつでも使用できるようにしている。使用する際は、個々の能力に応じ見守りを行うなど、危険防止に努めている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	引継ぎ等を通じ、全職員が入居者一人ひとりの日々の状態変化を把握し、事故の防止に努めている。事故が起きた際は、事故報告書を記入の上、具体的な再発防止策について協議している。	○	事故防止についての研修、勉強会への参加の機会を増やしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急処置法の勉強は、今後の課題であり今月は、誤嚥への対応を職員と行う。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	開所2年目、11月20日に防災訓練予定である。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	拘束をしないことを謳っているために伴う転倒、骨折リスクは、家人に十分な説明と同意は頂いている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定期的なバイタルチェックと観察を徹底し、変化や異変の早期発見に努めている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の介護記録に内服薬の説明書をファイルし、全職員が情報を共有できるようにしている。服用後の利用者の状態変化については、主治医へ報告している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄確認表を使用し、個々の排泄傾向の把握に努め、便秘傾向の利用者に対しては下剤の内服や水分補給の強化で対応している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、個々の能力に応じた方法で口腔ケアを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に応じた食事量と形態を検討し、十分な栄養が確保出来るよう支援している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	利用者、職員ともに外出後、排泄後、食事前の手洗い、消毒を徹底している。また職員は排泄介助、口腔ケア時に手袋を使用している。毎年11月に利用者、職員ともに、インフルエンザの予防接種を義務づけている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	作業前の手指の消毒、洗浄を徹底し、調理用具は使用の都度お湯にて洗浄している。食材については、一日の使用分をその日に購入し、使い切るよう心がけている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	好天時は玄関を開放している。玄関周囲や花壇に季節の花を植え、道行く人達の間を楽しませている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には天窓を配し、自然の光が取り入れられるようにしている。また、照明を壁面に埋め間接照明とし、頭上から照らされるより落ち着いた環境を演出している。	○	目立つ箇所に季節感のあるカレンダーを掛けたり、その季節の花を飾るなどの工夫をしていく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	通りに面した窓際に置かれたソファは入居者どおしの憩いの場になっている。	○	ソファや応接セット以外でも、利用者同士で気兼ねなく過ごせる場所が確保できるかどうか検討する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には本人の馴染みの物や家具、生活用品を持参していただき、できるだけ自宅の環境に近づけるよう、ご家族にも協力していただいている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室に換気口をつけきれいな空気を外から入れ、汚れた空気はトイレの換気口から出すようになっている。また、換気、温度調節には常に職員が気を配っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用空間には手すりを取り付け、床はバリアフリーとしている。洗面台、流し台は高齢者の体型を考え低くしている。また各居室においては、入居者の身体機能に応じ、寝具の選択やポータブルトイレの導入を行っている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室入口には、表札や馴染みのものを取り付けている。また、トイレ、お風呂場入口にも場所を明記し、混乱を防げるようにしている。	○	混乱を防ぎ、自立が促せるよう個々に応じた対応を工夫していく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭に物干し竿やベンチを用意し、洗濯物を干したり、くつろいだり出来るようにしている。建物まわりには、花壇をつくり、花を植えたり、水遣りが出来るようにしている。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
		○	③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
		○	③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

1. 日中は、排泄確認表をみながら時間でトイレに誘導しオムツに頼らず又、失禁を減らせるような介護を行っている。 2. 食事は、手作りを心がけている。お米が美味しい